

船舶事故調査報告書

令和7年11月19日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水																																							
発生日時	令和7年4月27日 11時25分頃																																							
発生場所	山口県長門市川尻岬南西方沖 長門川尻岬灯台から真方位210° 930m付近 (概位 北緯34° 26.0′ 東経130° 58.1′)																																							
事故の概要	ミニボート（船名なし）は、漂泊中、波を船尾方から受けて浸水した。																																							
事故調査の経過	令和7年6月3日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済																																							
事実情報																																								
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ミニボート（船名なし）、総トン数なし（全長3m未満） なし、個人所有																																							
乗組員等に関する情報	操縦者、操縦免許 なし																																							
負傷者	なし																																							
損傷	船外機が脱落																																							
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 3、視界 良好 事故現場の南東約6km に位置する油谷地域気象観測所における令和7年4月27日の風向・風速の観測値は、次のとおりであった。 <table><tr><th rowspan="2">時刻 (時：分)</th><th colspan="4">風向・風速 (m/s)</th></tr><tr><th colspan="2">平均</th><th colspan="2">最大瞬間</th></tr><tr><td>07：00</td><td>西北西</td><td>0.6</td><td>南南西</td><td>2.4</td></tr><tr><td>08：00</td><td>東北東</td><td>1.3</td><td>東</td><td>1.9</td></tr><tr><td>09：00</td><td>西南西</td><td>1.7</td><td>南南西</td><td>3.2</td></tr><tr><td>10：00</td><td>西南西</td><td>4.2</td><td>西南西</td><td>8.1</td></tr><tr><td>11：00</td><td>西南西</td><td>4.7</td><td>南西</td><td>8.9</td></tr><tr><td>12：00</td><td>西南西</td><td>4.1</td><td>西南西</td><td>8.1</td></tr></table> 海象：波高 約0.6m、潮汐 下げ潮の初期、水温 約15℃	時刻 (時：分)	風向・風速 (m/s)				平均		最大瞬間		07：00	西北西	0.6	南南西	2.4	08：00	東北東	1.3	東	1.9	09：00	西南西	1.7	南南西	3.2	10：00	西南西	4.2	西南西	8.1	11：00	西南西	4.7	南西	8.9	12：00	西南西	4.1	西南西	8.1
時刻 (時：分)	風向・風速 (m/s)																																							
	平均		最大瞬間																																					
07：00	西北西	0.6	南南西	2.4																																				
08：00	東北東	1.3	東	1.9																																				
09：00	西南西	1.7	南南西	3.2																																				
10：00	西南西	4.2	西南西	8.1																																				
11：00	西南西	4.7	南西	8.9																																				
12：00	西南西	4.1	西南西	8.1																																				
事故の経過	本船は、操縦者及び同乗者1人が乗り、川尻岬南東方沖で船外機を停止して漂泊し、操縦者及び同乗者が07時00分頃から釣りを始めた。 操縦者等が釣りを始めた時の海上模様は平穏であったが、次第に風が強くなり、波も高くなってきた。 操縦者は、波が高くなってから約30分間、同乗者とそろそろ帰航しようかと相談しながら釣りを続けていたところ、波が本船の船尾方から船縁を越えて船内に打ち込み始めた。 本船は、操縦者が小型電動ポンプで排水を試みたが、波の打ち込みが続き水船状態となり、操縦者及び同乗者は体が海水に浸かる状態となった。																																							

	<p>同乗者は、携帯電話で１１０番通報して救助を要請した。</p> <p>操縦者及び同乗者は、体が冷えてきたので陸に向かって泳ぎ始め、操縦者は砂浜に泳ぎ着き、同乗者は岩礁に泳ぎ着いて岩礁に上った。</p> <p>操縦者は、同乗者を助けようと思い、同乗者が上っていた岩礁に向かって泳いでいたところ、１２時３０分頃、警察署から海上保安部を通じ連絡を受けて来援した水難救済会所属の漁船に発見され、操縦者及び同乗者は同漁船に救助されて長門市川尻漁港に着いた。</p> <p>本船は、２９日１１時１０分頃、川尻岬北東方沖で巡視艇に転覆した状態で発見され揚収された。本船の船外機は脱落していて見付からなかった。</p> <p>本船は、両舷にサイドフロートを装備しており、水面から船縁までの高さは約０.２ｍであった。</p> <p>操縦者及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>海上保安庁がホームページで提供する Water Safety Guide のミニボート航行時の注意^{*1}として、次の記載がある。</p> <p>ミニボートが安全に航行できる範囲は、乾舷の高さ（水面から船縁までの高さ）の半分以下である波高２０ｃｍ くらいまで、風速では４ｍ/ｓ 以下を目安と考えてください。また、海上で風や波が出てきた場合は、早めに帰航するようにしましょう。</p>
分析	<p>本船は、漂流中、操縦者が波が高くなり風が強くなったことを認めた後も釣りを続けていたことから、船尾方から波を受けて船内に海水が打ち込み、浸水したものと考えられる。</p> <p>油谷地域気象観測所の風速の観測値によれば、本事故発生当日、１０時００分頃から平均風速が４ｍ/ｓ を超えていたことから、操縦者は、本船が漂流中に海象及び気象の変化に留意し、波が高くなり風が強くなったと認める前に帰航する必要があったと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、漂流中、操縦者が波が高くなり風が強くなったことを認めた後も釣りを続けていたため、船尾方から波を受けて船内に海水が打ち込み、浸水したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミニボートの操縦者は、ミニボートの乾舷が小さいことを考慮し、海象及び気象の変化に十分留意し、波が高くなる前に帰航すること。

^{*1} Water Safety Guide ミニボート航行時の注意
https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/miniboat/03_attention/index.html